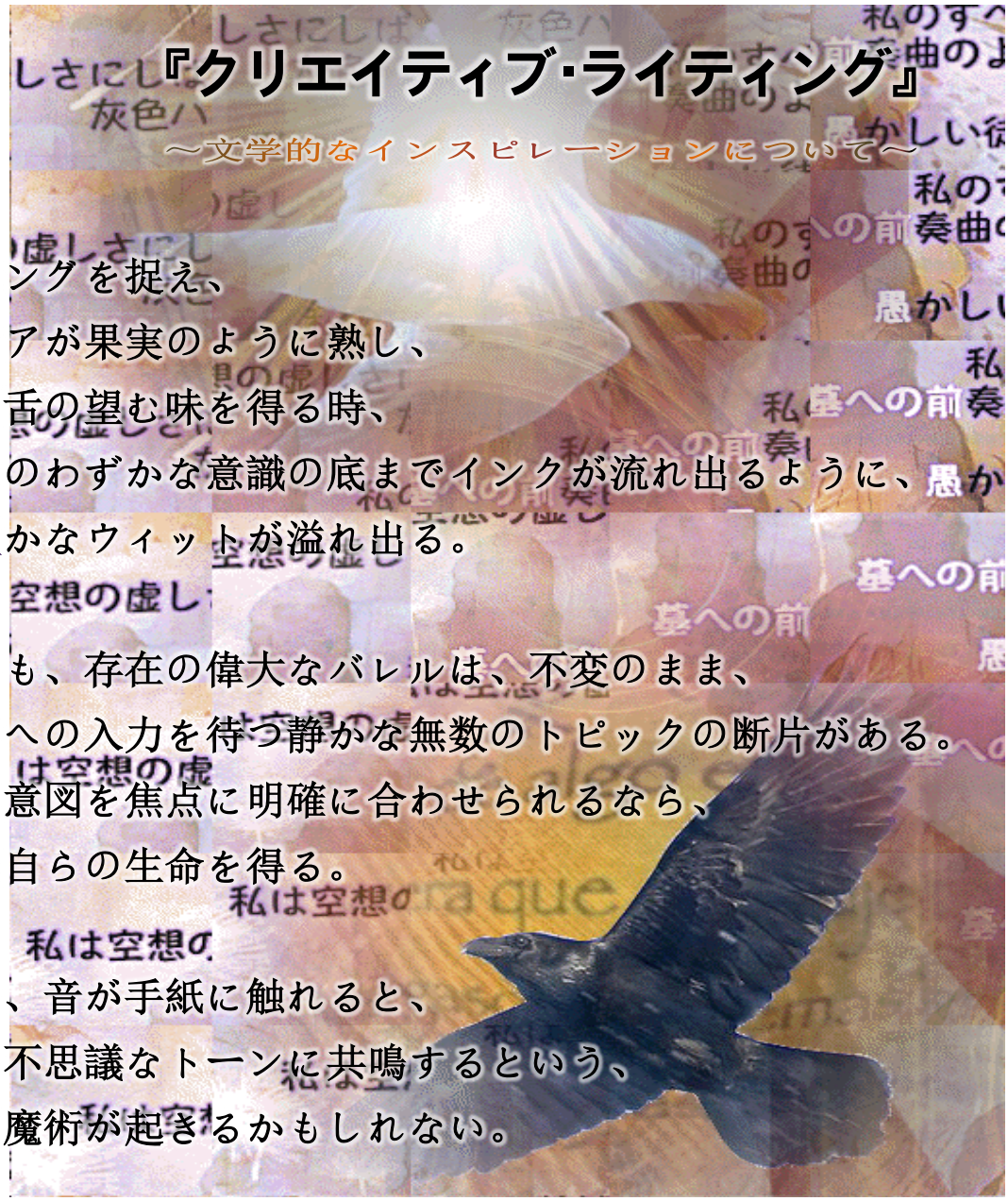
新田博氏の『言葉の新田：一つの文学饗宴』から



『クリエイティブ･ライティング』

～文学的なインスピレーションについて～

タイミングを捉え、
アイデアが果実のように熟し、
言葉が舌の望む味を得る時、
私たちのわずかな意識の底までインクが流れ出るように、
風味豊かなウィットが溢れ出る。

それでも、存在の偉大なバレルは、不変のまま、
ページへの入力を待つ静かな無数のトピックの断片がある。
もし、意図を焦点に明確に合わせられるなら、
言葉は自らの生命を得る。

そして、音が手紙に触れると、
言葉が不思議なトーンに共鳴するという、
意外な魔術が起きるかもしれない。

- T Newfields（和訳：吉田典子と槌谷メリサ）

開始：2007 東京　・♪ 完成：2020 年 横浜市